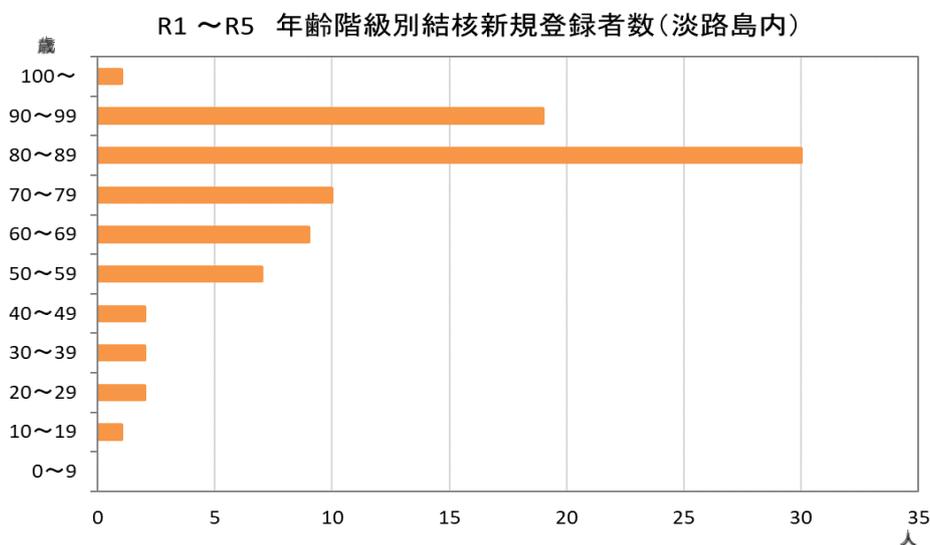
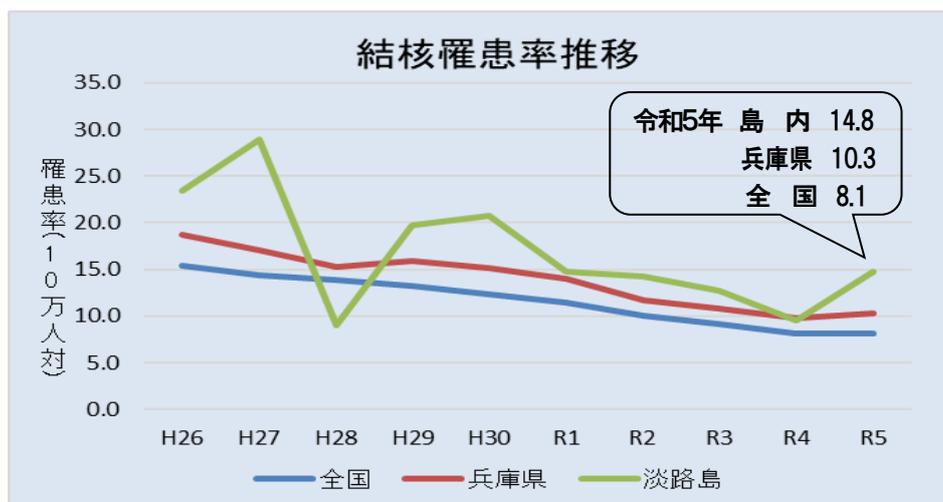


# 結核通信

【令和7年3月発行】  
洲本健康福祉事務所(保健所)  
健康管理課  
☎ 0799-26-2062

## 淡路島内の結核の発生状況

結核は、全国的に減少傾向にあり、最近では馴染みのない病気かもしれません。しかし、淡路島内でも毎年、新規結核患者が発生しており、過去の病気ではありません。



島内では、全国や兵庫県に比べて、結核罹患率が高い傾向にあります。年代別にみると、高齢者に多く、80～89歳の割合が一番高くなっています。新規結核患者の7割以上は70歳以上の高齢者が占めている状況です。

結核は、感染しているだけでは他者に感染することもなく問題ありませんが、体力や免疫の低下をきっかけに発病するリスクがあります。特に高齢者では、過去に結核に感染している人の割合が高いため、発症リスクがあります。さらに、結核の典型的な症状(咳・痰・熱)を示さないことも多く、発見が遅れることにより集団感染となることがあるため、高齢者施設では注意が必要です。

施設内での感染拡大を防止するためには、早期発見し、確実に治療を行うことが重要です。裏面にポイントについてまとめています。

## 施設内での結核対策について

### ～平時からの対策～

結核は、重症化し感染力が強くなる前に発見することが重要です。早期発見により、患者さん自身の負担を軽減するとともに周囲への感染拡大も防止できます。そのためには平時からの対策が重要です。

#### ① サービス利用開始時の健康チェック

- ◇ 入所時の胸部 X 線検査で異常がないか把握しましょう。
- ◇ 結核の発病リスクを確認しましょう。  
必要な際、医師などに情報共有できるよう記録しておきましょう。

#### 結核の発病リスクが高い人

- ・過去に結核(肺結核、肋膜など)の既往がある人
- ・家族に結核になった人がいる人
- ・糖尿病、腎不全(透析を行っている)の人
- ・慢性呼吸器疾患の人
- ・生物学的製剤、副腎皮質ホルモン剤、抗がん剤、その他免疫抑制剤を使用している人

#### ② 結核の定期健康診断

- ◇ 年に一度は利用者の胸部 X 線検査の結果を把握しましょう。  
(高齢者施設の定期健康診断やまちぐるみ健診などを活用しましょう。)
- ◇ 職員も入職時や定期的健康診断により年に一度は胸部 X 線検査を実施しましょう。
- ◇ 要精密検査の結果が出た場合には必ず医療機関を受診しましょう。

#### ③ 日々の健康観察

- ◇ 毎日の健康観察により、利用者の変化を見落とさないようにしましょう。

#### 健康観察のポイント

- ・咳、痰(血痰・喀血)、熱(微熱を含む)が2週間以上持続する
- ・なんとなく元気がない、活気がない
- ・体重減少、食欲不振
- ・倦怠感、息切れ

咳、痰、熱以外の結核と気づきづらい、症状に注意！



### ～確実な治療への支援～

結核は薬で治る病気です。また、患者さんの内、感染性がない人は外来治療をされており、このような方からの結核感染を恐れる必要はありません。しかし、確実に治療し再発を防止するためには、3～4種類と多くの薬剤を用いて、少なくとも6～9ヶ月間の内服をする必要があります。そのため、多くの方が地域生活を送りながら結核治療を行っていくことになります。

結核患者さんで、感染性がなくなり退院してこられた方やもともと感染力がない方が治療中に施設を利用することは可能です。そのため、このような場合には、最後まで治療を完遂できるよう、利用者の服薬支援にご協力をお願いします。

#### 利用者の服薬支援

- ◇ 毎日決められた時間に服薬の促しや確認をお願いします。患者さんは服薬ノートを持っておられますので、ノートの記載、チェックもお願いします。
- ◇ 抗結核薬による副作用の頻度は少なくありません。服薬ノートには出現しやすい副作用についても書かれていますので、服薬と同時に副作用の確認にもご協力をお願いします。

洲本健康福祉事務所  
結核のページはこちら

